

原子力規制委員会新規制基準（案）及び 大飯発電所現地確認について

1 原子力規制委員会新規制基準（案）

(1) 経 過

平成25年4月10日 原子力規制委員会で新規制基準案了承
4月11日～5月10日 パブリックコメント

(2) 基準案の主な内容

ア 関係規則の施行（7月18日まで）後、即時適用される項目

地震・津波等自然災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各原発で起こりうる最大級の「基準津波」を策定し、それに原発が耐えられるよう防潮堤・防潮扉等を設置 ・ 安全上重要な建物（原子炉建屋など）は活断層の上に設置しないこと（活断層は約12～13万年前以降に活動性がないこと。必要に応じて約40万年前以降まで遡及調査） ・ 竜巻による飛来物の衝突に耐えられる建屋の強度を確保
過酷事故対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 免震機能を持つ緊急時対策所の設置 ・ 事故時の原子炉冷却設備の設置（冷却設備の配管を2系統確保、電源車・バッテリー等の配備等） ・ 燃えにくい電源ケーブルの設置 ・ 敷地外へ放射性物質が拡散した場合に備え、放水設備を設置

イ 規則の施行後5年間猶予される項目

過酷事故対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意図的な航空機衝突等のテロリズムにより原子炉が制御できなくなった場合に備え、バックアップ機能を有する第2制御室（特定安全施設）を設置 ・ 加圧水型原子炉（PWR）にフィルタ付きベントを設置（高浜・大飯発電所はPWR）
--------	---

※ 大飯発電所については、基準の内容が固まった段階で原子力規制委員会が確認作業を実施し、安全上重大な問題があると認める場合には停止を求める可能性がある。（「原子力発電所の新規制施行に向けた基本的な方針」平成25年3月19日原子力規制委員会決定）

(3) 大飯発電所3・4号機の現状に関する評価会合（4/19～5/27計7回開催）の概要

項 目	評価会合での主な意見	関 西 電 力
緊急時対策所	1、2号機の会議室の利用を検討すべき	3、4号機の会議室で対応
Fo-A、Fo-B、熊川断層の連動	連動を前提にした評価が必要	連動しない
安全設備の設置	電源車の追加配備や原子炉建屋の水素爆発防止のための水素濃度計測装置の配備等について、前倒しを要請	6月28日までに完了

(4) 今後の予定

- 規則の公布 6月下旬から7月上旬
- 規則の施行 7月18日まで

2 大飯発電所現地確認について

(1) 趣旨

関西電力株式会社が国に提出した「大飯発電所3, 4号機における更なる安全性・信頼性向上のための対策の実施計画」の実施状況等を確認

(2) 確認の状況

府現地 確認日	目 的	実 施 項 目	完了時期
第1回 H24. 7. 13	非常事態への対応体制の構築・訓練の実施	更なる対応体制の強化（協力会社による支援要員派遣体制構築等）	H24. 4
	要員招集体制の構築及び強化	常駐要員の強化	H24. 4
	代替注水機能の強化	中圧ポンプ配備	H24. 5
	低圧代替注水への確実な移行	更なるマニュアルの充実	H24. 5 ※H25. 3完了予定を前倒し
	3号機浸水口の津波による漂流物防護対策の強化	水密扉への取り替え（3号機浸水口）	H24. 5 ※H24. 9完了予定を前倒し
	浸水対策の強化	非常用ディーゼル発電機空調用ダクトかさ上げ	H24. 6
	事故時における計装設備の信頼性確保	予備の可搬型計測器等の配備	H24. 6
	空冷式非常用発電装置の分散配置	落石防護柵の設置	H24. 6
	阿羅山トンネル内の未使用配管の撤去	配管の撤去	H24. 6 ※H24. 7完了予定を前倒し
第2回 H24. 10. 16	外部電源の設備の迅速な復旧	復旧手順マニュアル整備及び必要な資機材の確保	H24. 8
	外部電源システムの信頼性向上	鉄塔基礎盛土崩壊や地すべり、急傾斜地の土砂崩壊の影響を評価し、必要な対策を実施	H24. 9
	浸水対策の強化	水密扉への取替え（水密エリア）	H24. 9
		可搬式ポンプ等浸水時の排水機能の確保	H24. 9
3号機浸水口の津波による漂流物防護対策の強化	浸水口手前に車両等の漂流物進入を防止する鋼製門扉の設置	H24. 9	
第3回 H25. 2. 13	空冷式非常用発電装置の分配配置	空冷式非常用発電装置の位置変更工事	H24. 10
	事故時の通信機能確保	衛星可搬局の設置	H24. 11 ※H25. 3完了予定を前倒し
第4回 H25. 5. 17	非常用直流電源の強化	常用系蓄電池から非常用直流電源系統への接続・給電	H25. 3
	給電口への接続困難時のマニュアル整備	空冷式非常用発電装置から建屋給電口へのケーブル接続が困難な場合に備え、ケーブル同士を直結するための工具の整備及びマニュアルの整備	H25. 3
	弁作動用空気確保のためのコンプレッサー等の確保	配管中の空気作動弁が電源喪失により作動しなくなった場合に備え、作動させるための窒素ポンプ・コンプレッサー等を配備	H25. 3
	可搬型モニタリングポストの追加配備	通信機能、専用電源を備えた可搬型モニタリングポストを6台配置	H25. 3 ※H26. 3完了予定を前倒し
	更なる資機材・予備品の確保	原子炉等の重要なパラメータを監視する予備の可搬型計測器160台、資機材・予備品リストの整備	H25. 3

- 97項目中78項目が計画に沿って実施済み（一部項目については前倒し）実施中の19項目（防波堤かさ上げ工事・免震事務棟建設工事等）も整備が進捗していることを確認